

町別の水洗化率を公表します

加西市の下水道整備は平成 21 年度末で全て完了しました。したがって、基本的には市内全域で下水道接続が可能な状況にあり、平成 22 年 9 月末日現在で市全体の水洗化率（接続率）は 77.2%となっています。

一般的に下水道整備の時期が遅かった地域の水洗化率は低い傾向にありますが、比較的早い時期に整備された地域でも水洗化率が低いところもあるなど、町ごとの水洗化率には相当の開きがあります。

加西市の膨大な借金の約 6 割は下水道整備に伴うものであり、せつかく整備した下水道は活用していただくことが大切です。今後は下水道事業会計の健全化のためにも、水洗化工事を進めていただかねばなりません。公共下水道区域では、本管が接続され供用が開始されると、3 年以内に水洗化工事を行うことが法律で義務づけられています。（下水道法第 10 条、第 11 条の 3）

つきましては、下水道整備区域内で現在合併浄化槽を設置されている方、農業集落排水事業区域やコミプラ事業区域の方で、まだ水洗化されていない方は一日も早い水洗化をお願いします。

町別水洗化率一覧表

平成 22 年度 9 月末日現在の水洗化率は次の通りです。
（ ）内は下水道整備の完了により供用を開始した年度です。

■北条地区	
福吉町	76.8% (H6)
本町	80.7% (H3)
南町	82.6% (H3)
駅前町	76.7% (H3)
御旅町	69.6% (H5)
御幸町	90.5% (H5)
笠屋町	83.5% (H7)
宮前町	79.8% (H7)
江ノ木町	79.0% (H3)
住屋町	100.0% (H7)
柴町	72.5% (H7)
小谷	83.3% (H10)
栗田	88.4% (H9)
横尾	89.0% (H5)
古坂	90.2% (H9)
東高室	79.2% (H9)
西高室	92.6% (H8)
東南	87.5% (H8)
西南	82.5% (H8)
西南（住宅）	100.0% (H6)
黒駒	74.4% (H9)
曾根自治区	100.0% (H3)
北条第三住宅自治区	100.0% (H3)
古坂 1 丁目自治区	98.6% (H3)
古坂 2 丁目自治区	100.0% (H3)
古坂 3 丁目自治区	100.0% (H3)
北条団地自治区	宮前を含む (H6)
女鹿山自治区	63.6% (H10)
清水団地自治会	西高室を含む (H9)
力ナタ村自治会	西高室を含む (H9)
荒神山住宅自治区	東高室を含む (H11)
■富田地区	
谷町	66.3% (H10)
西谷東町	47.1% (H15)
西谷西町	100.0% (H4)
畑町	86.2% (H12)
窪田町	92.1% (H11)
吸谷町	90.0% (H11)
西上野町	77.6% (H11)
市村町	57.1% (H17)
坂元町	71.9% (H17)
福居町	58.9% (H17)
谷口町	65.0% (H17)
吉野町	92.3% (H6)
吉野住宅自治区	100.0% (H6)
芝自治区	69.7% (H12)

■賀茂地区	
福住東町	81.2% (H11)
福住西町	71.4% (H11)
山下西町	94.7% (H6)
山下中町	100.0% (H6)
山下東町	85.3% (H6)
西横田町	87.9% (H12)
東横田町	75.5% (H12)
鎮岩町	61.3% (H11)
岸呂町	88.6% (H4)
東長町	77.4% (H13)
西長町	83.3% (H13)
東剣坂町	93.7% (H8)
西剣坂町	89.3% (H8)
中山町	75.8% (H15)
大柳町	55.0% (H15)
■下里地区	
王子町	70.3% (H12)
戸田井町	91.1% (H13)
両月町	76.8% (H13)
大村町	81.6% (H11)
尾崎町	70.7% (H11)
段下町	74.4% (H12)
中西南町	62.5% (H10)
中西北町	74.5% (H11)
琵琶甲町	96.8% (H13)
野条町	77.1% (H13)
牛居町	87.5% (H12)
上野田町	53.9% (H11)
東野田町	67.7% (H11)
東笠原町	69.0% (H14)
西笠原町	74.6% (H14)
三口町	67.0% (H15)
坂本町	84.6% (H9)
倉谷町	90.1% (H12)
千ノ沢町	71.4% (H12)
新生町	11.1% (H13)
尾崎団地自治区	尾崎を含む (H6)
■九会地区	
中野町	49.5% (H17)
田原町	70.4% (H15)
網引町	73.4% (H15)
南網引町	86.5% (H3)
柴町	61.9% (H17)
桑原田町	50.8% (H16)
繁陽町	61.5% (H17)
繁昌町	58.6% (H21)
上宮木町	41.3% (H17)
下宮木村町	67.4% (H17)
下宮木町	45.5% (H17)
下野町	38.9% (H21)
鶺野南町	64.6% (H17)
鶺野中町	52.8% (H19)
繁昌団地自治会	繁昌を含む (H18)

■富合地区	
都染町	89.2% (H13)
別府西町	76.0% (H13)
別府中町	91.9% (H5)
別府東町	80.2% (H13)
常吉町	63.1% (H18)
朝妻町	59.4% (H18)
豊倉町	50.0% (H20)
玉野町	77.2% (H10)
山枝町	59.6% (H20)
玉丘町	63.4% (H17)
青野原町	86.0% (H13)
■多加野地区	
甲和泉町	77.8% (H14)
乙和泉町	72.3% (H14)
河内町	72.5% (H14)
山田町	75.7% (H14)
野上町	71.1% (H14)
池上町	77.3% (H14)
西野々町	84.9% (H7)
島町	89.7% (H7)
満久町	86.2% (H7)
馬渡谷町	63.6% (H14)
大工町	82.5% (H14)
鍛冶屋町	60.0% (H15)
油谷町	71.2% (H15)
田谷町	74.4% (H15)
国正町	74.3% (H9)
小印南町	71.9% (H15)
青野町	80.0% (H13)
■西在田地区	
上若井町	85.2% (H12)
下若井町	79.3% (H12)
大内町	85.5% (H12)
下道山町	77.3% (H12)
上道山町	77.6% (H12)
下万願寺町	78.2% (H12)
上万願寺町	70.0% (H12)
■在田地区	
殿原町	68.3% (H14)
鴨谷町	84.3% (H8)
笹倉町	76.8% (H17)
中富町	80.4% (H14)
中富町（住宅）	中富を含む (H14)
越水町	67.4% (H14)
北町	48.9% (H14)
別所町	66.7% (H14)
佐谷町	66.3% (H12)
上野町	85.4% (H12)
広原町	78.6% (H12)
下芥田町	88.8% (H9)
上芥田町	89.8% (H9)

3年目を迎えた加西市の BDF 事業

加西市は、平成 17 年 11 月に近畿の自治体第 1 号としてバイオマスタウン構想を公表、平成 19 年 9 月から廃食用油の回収を始め、平成 20 年 4 月には北条町駅車庫内に廃食用油リサイクルセンターを開設し、バイオ燃料（BDF）精製を開始しました。

BDF 事業は、市民の皆様や地元企業の協力をいただき、近隣地域でも先進的かつ重要な環境事業となっており、精製された BDF は、加西市や近隣市町の公用車や民間企業のトラック等でも利用されるなど、北播磨圏域内の資源循環システムとなっています。

市 BDF 事業での廃食用油回収及び BDF 利用の状況

一般家庭からの廃食用油の回収を開始してから 3 年目を迎えた加西市の BDF 事業の実績を報告します。

■廃食用油の回収状況

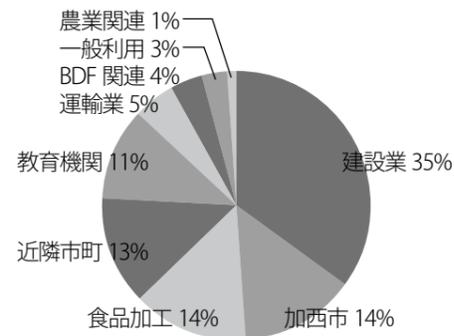
（単位：リットル）

回収先	年	H19度(9月から)	H20度	H21度	H22度(9月まで)
市内回収量	一般家庭	974	44,668	61,865	27,868
	公共施設	—	3,904	9,283	5,629
	市内事業所	—	6,054	7,089	3,184
市外回収量	近隣市町	—	29,491	42,195	22,730
	その他事業所	—	6,967	9,571	5,500
	合計	974	74,159	104,060	50,598

■常設回収ボックス設置場所
廃食用油の回収は、町ごとの回収とは別に、常設の回収ボックスを設置しています。

- ・加西市役所正面玄関
- ・加西市役所付属棟玄関
- ・加西市市民会館
- ・北条鉄道「北条町駅」構内
- ・健康福祉会館
- ・善防公民館、南部公民館、北部公民館
- ・ファミリーマート加西北条店、加西繁昌店

■BDF 利用先の割合（H22 年 4～9 月）



※ BDF 関連は、廃食用油回収および BDF 配送に利用したもの

■BDF 精製量

平成 20 年 4 月から 22 年 9 月までに約 202 キロリットル（ドラム缶約 1,010 本分）の BDF を精製しました。
これによる CO2 排出抑制効果は、森林約 70ha 分の年間 CO2 吸収量（CO2 約 530 トン分）に匹敵します。



北条町駅車庫内で稼働する廃食用油リサイクルセンターの BDF 製造装置

北条鉄道が BDF 列車の営業運行開始

北条鉄道は、平成 20 年 6 月に全国初の BDF100%による試験運行をダイヤ外で実施し、BDF の十分な走行性能を確認しました。そして今回 10 月 16 日に開催された「北条鉄道まつり」において、国内で初めて BDF100%での営業運行を開始。開業 25 周年を迎えた北条鉄道にとって記念すべき取り組みとなりました。

当日、BDF100%の客車両は、北条町駅を出発し粟生駅を折り返す往復 6 便を運行。軽油を燃料とするよりも 183kg の CO2 の排出抑制ができました。

さらに、今後も定期的な利用を計画しており、「環境と景観のまちづくり」に取り組んでいきます。

植物由来の BDF 利用は、車両走行時に排出される二酸化炭素（CO2）が菜の花などの成長過程で吸収・蓄積したもので、燃焼させても大気中の総量は変わらない（カーボン・ニュートラル）という環境特性があります。



注目された国内初の BDF100%での営業運行